

公明は政策の推進役

党東京都本部が議員総会

山口代表 連立政権での役割強調



公明党の山口那津男代表は10日、東京都新宿区の公明会館で行われた党都本部(代表＝高木陽介国会対策委員長)の議員総会であいさつし、連立政権で公明党

議院の公明党議員総会
10日、公明会館
東京都本部
代表＝山口

が果たしている役割について「政権を安定させ、国民が望むことや困っている声を政権として捉え実行していくことだ」と強調した。

この中で山口代表は、来年10月に予定されている消費税10%への引き上げに関して、公明党の提案を受け、教育費の負担軽減への使い道変更や軽減

税率の実施が決まったほか、引き上げに伴う駆け込み需要や反動減を防ぐ取り組みが進められると指摘。また、日中関係の改善でも役割を果たしてきたことに触れ、「二つとも公明党が推進役となって進めてきた。ここに公明党の連立政権における重要な役割がある」と力説した。

今月下旬にも召集される臨時国会では、防災・減災対策とともに、学校のエアコン設置費用を盛り込んだ2018年度補正予算案を早期成立させる考えを表明。その必要性について「冬や春休みの期間に工事をしないと夏には間に合わない。

冬休みに工事が発注できるようにしたい」と語った。会合では、高木都代表が「黨員、支持者、地域の皆さんに喜んでもらえる公明党になり、一人一人の議員が現場の声を受け止め政策を実現していこう」と呼び掛けた。